

令和5年 1月20日 (金)

あさひの日だまり

NO.34

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～4・5・6年生のスキー教室がありました～

楽しかったですか



今週は4・5・6年生のスキー教室から1週間がスタートしました。土曜日と日曜日も高温で、雪が解けてしまわないかが心配でした。月曜日の天気予報は、雨も降りそうだったので、日曜日から天気予報が気になって、何度もネットの天気予報を調べていました。予報はどうもあまりかんばしくない感じで、心配していました。

当日の朝は薄曇りで、何とか雨が降らなければいいという様子でしたが、私は出張でしたので、出張先の会議室の窓から外を眺めていました。パラパラ雨が降ったり、時

に少し強くなったりでしたが、ゲレンデにいる教頭先生から、「少しみぞれが降っていますが、スキーをするには影響ありませんよ」という連絡をいただいて胸をなでおろしました。

翌日の朝、昇降口で、登校してくる子どもたちに「昨日のスキーどうだった？」とたずねてみました。「寒くて嫌だった」と言われたらどうしようと思いながら少しドキドキして聞きました。

「楽しかった！」みんながみんなそう答えてくれました。「どういうところが楽しかった？」と聞いてみると「スピードを出して滑ってとっても気持ちよかった」「スキーで曲がれるようになったところが嬉しかった」といった答えが返ってきました。「そうか、確かにあのスピード感は日常には無いな」と思いました。カーブを描く感じも非日常の体験です。ニコニコ笑いながら「楽しかった」と答えてくれる子どもの様子を見て本当にうれしくなりました。「こけなかったかい？」と聞いたら、「何度もこけました！」と、こけたこともとてもうれしそうに答えてくれました。「今度の週末に家の人に連れて行ってもらうことにした」という子どももいて、スキー教室が、子どもたちがスキーに興味を持ってくれる機会になったことも嬉しく思いました。子どもの気持ちが一番ですが、もし「また行きたい」という願いがあって、ご家庭のご都合がつけば、お子さんの願いをかなえていただけたら幸いです。



引率して下さった先生にそんな話をすると「指導員の方がとにかく子どもの良さを見つけて褒めてくれるんです。少し上手になると、すごいじゃんと言って認めてくれるんです。そういう指導の方法が子どもたちがスキーって楽しいと思えることにつながったんじゃないでしょうか」とお話ししてくれました。「なるほどそうか」と思い、スキー場の方の心配りに本当に感謝の思いが湧きました。

次はそり教室とスケート教室です。学校に帰ってきた子どもたちが「あ～楽しかった」といってくれるような行事になることを心から願っています。

～児童会の選挙が始まりました～

候補者も応援する仲間も頑張っています

今月の26日の児童会選挙へ向けて、候補者と応援の児童たちが一生懸命に選挙活動をしています。朝は昇降口前で登校する仲間たちに声がけをしています。また、各教室への訪問演説もしています。

私はここまでの児童会活動の様子や子どもたちの成長の姿を見てきて、「児童会は中学校の生徒会と比べると自治組

織としてはまだ未熟だなどということはない」と思っています。場を与えれば、自分たちで課題を見つけて、解決の方法を考え判断し、具体的な活動を展開する力は備わってきていると思います。あとは、その力を信じて教職員が子どもたちをサポートしていかれるかどうかです。子どもたちとともに、子ども主体の児童会活動が出来たら素敵だなと思っています。子どもたちも頑張ります。私たち教職員も頑張りたいと思います。

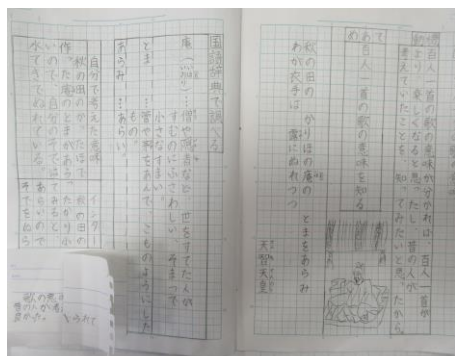
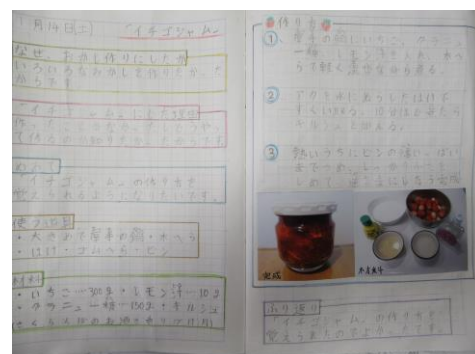


～自主学習を始めました～

戸感っていませんか

1月から土曜日と日曜日の宿題は「自主学習」としました。「自分で課題を見つけ出して、解決の方法をあれこれ考えてみたり試してみたりして、じぶんの判断で解決方法を決めて、行動してみる」という学習です。ねらいは「自律した姿」の実現です。こういうとんだかとても難しいことのように

聞こえますが、一番は、子どもたちが挑戦してみたいことに思い切って挑戦する機会となることを願っての取り組みです。少しでも満足感や充実感を感じてくれたら、それが子どもたちの自信に必ずつながると思っています。「自分もなかなか頑張れるんじゃない。大変だったけど、あ～楽しかった。」という経験をぜひしてほしいと思っています。



あるクラスの担任の先生が、子どもの創ったノートを持ってきてくださいました。上と左のものがそれです。上のはいちごジャムを作った記録です。左は、百人一首の意味を調べた学習です。どちらもなんだか一生の宝になる勉強のような気がして、素敵だなと思います。

子どもたちの楽しい学習が展開することを願っています。

～1年生が繭玉を作りました～

地域の方が教えて下さいました



1年生が、沢底の方を招いて、まゆ玉作りをしました。「まゆ玉って作ったことある？」と前の児童に聞いてみましたが、作ったことのある子もいれば、初めての子もいました。

米粉をお湯でといて、形を作り、着色をさせてもらってゆで上げました。まあるいの、まゆの形の、動物の形の、思い思いのまゆ玉ができました。出来立てをいただいて「おいしい、おいしい」とほうばっていました。残りを「みずぶさ」の枝にさして家へ持ち帰りました。途中で振り回して枝から飛んでい

なければいいなと思いながら見ていました。

翌日の朝「うちで食べた？」とたずねると、「うん！」と返事をしてくださいました。無事に家までついたんだと安心しました。お子さんやお孫さんが作ったまゆ玉を、家族で分け合う様子が目に浮かびました。きっと、今年一年、無病息災に違いありません。

沢底のご指導していただいたみなさん。本当にありがとうございました。



